

福間南小学校区および福間中学校区の校区再編に関する意見交換会

主な意見

1. 校区再編の素案に対する意見

○賛成意見

- ・自分の住んでいる地区が強制的な校区再編とならずに安心した。周りの保護者も同様の意見であった。
- ・子ども達は現状の過大規模の状態に何も不満はないようだ。逆に過大規模の緩和のために校区再編で友達と離れるのは嫌だと言っている。
- ・校区再編によって、子ども達が友達と離れ離れにならないことは喜ばしいこと。
- ・校区選択制については、保護者、子どもが選べる自由があるので良い。
- ・光陽台地区のことを考えると選択制でいくしかないと思う。

○反対意見

- ・選択制となると、ほとんど福間中学校に行くのではないか。結局何も変わらない。
- ・通学先を選択する際、子どもは友達と同じ学校を選択すると思う。友達との関係もあり、選択をすることは簡単ではなく、負担に感じる。強制的に光陽台は福間東中学校と決めてもらった方が、周りもみんな一緒に福間東中学校に行くのでよい。
- ・校区選択制を導入することで、コミュニティスクールで築いてきたものに歪が出るのではないか。また、自治会離れにも繋がるかもしれない。
- ・過大規模の緩和を目的に検討しているが、素案は緩和に寄与していないと思う。
- ・毎日子ども達が窮屈な思いをしているように思う。登校中も道いっぱいに広がって、歩道からもあふれている様子を目にする。そのような状況にも関わらず、今回の校区再編をしないという素案が出て、寂しく思っている。南小の現状に対して、無策のように見える。
- ・仮に光陽台全員が福間東中学校に行っても、あまり福間中学校の緩和に繋がらないのではないか。もし校区再編をするのであれば、もっと人数を動かさないと福間中学校の過密状態は変わらないと思う。もっと人数が動かせるように施設を整えていく必要がある。
- ・福間東中学校の受入について、給食施設の問題とのことであるが、まだ考える余地があるのではないか。

2. 校区再編の素案に関連する意見

○校区再編の検討について

- ・福間東中学校を選択して、通うことになった場合、いじめなどのトラブルが発生しやすいのではないか。
- ・校区再編は郷づくりの区域も含めて検討すべきだ。
- ・校区再編を数合わせで考えるべきではない。
- ・素案が最適解を目指した結果なのか、その場しのぎなのか、わからない。
- ・住民に痛みなく解決することは難しいと思う。
- ・市全体として、学校施設が不足していて、なおかつ、お金もかけられないとなると非常に困難な状況であると思われる。
- ・法人税が少なく、人口が増えている福津市はお金がないのは、理解できる。これから子どもが減っていき、高齢者が増えていく問題を抱える中で、どのように学校の現状を解決していくのかは、非常に難しい問題だと思う。現状でなんとかやっていくしかないよう思う。
- ・校区外通学を希望した場合の児童がうけるリスクを教育委員会が理解していない。

○通学路・通学手段について

- ・通学手段、通学路の安全を担保することで、校区再編への賛否が変わってくるのではないか。
- ・福間東中学校への通学を考えると、3号線下の道など、暗い場所が多く心配だ。安全面を考慮し、街灯を増やし、安心して通れるようにしてほしい。
- ・保護者達は、暗い道が通学路になると思っている。通学路は明るい道で、通学距離も短くなることを情報発信すれば、福間東中学校を選択する人が増えるのではないか。
- ・現在の校区外通学制度について、利用する場合は保護者の負担で通学するということに違和感を覚える。
- ・自転車通学の導入も検討すべきではないのか。
- ・福間東中学校を選択すると自転車通学ができるなどのメリットがあるといい。
- ・もし、強制的な校区再編となった場合は、自転車通学の導入など、措置を講じる必要がある。
- ・校区外に通学させる場合、通学が不安である。スクールバスの導入などがあると、通学先について、選択肢が広がる。
- ・スクールバスなどを検討する必要があるのではないか。選択制にしろ、希望制にしろ、保護者に考えるための材料を与えるべきだ。スクールバスの需要があるか不明とのことであるが、課程途中の小学3年生とこれから小学1年生に

なる子どもの保護者は立場が違う。途中での転校は需要がないかもしれないが、これから入学する人にはスクールバスは需要があるのではないか。校区外に通いやすい状況を整えることを考えるべきではないか。

○情報発信について

- ・選択制を導入後、保護者と子どもが進学先を選ぶときに、各学校の情報が周知されると選択しやすくなる。
- ・過大規模緩和に関する教育委員会内部の検討内容などもオープンにしてもらえると、内容を把握した状態で意見交換会に参加できるし、参加者も増えるのではないか。スクールバスについても、例えば、予算的に導入が難しいとなっても、保護者が強く要望し、一部、予算が足りない部分を利用者が負担するという形での実現も考えられるのではないか。

○教育環境について

- ・素案のとおりに行うとして、その後このまま何もしないのはダメだ。子ども達のために教育環境を整えていかなければならない。グラウンドを子どもが自由に走り回れない、特別教室がない、このような状況を考えてほしい。
- ・これまで事故がなかったからよかったではダメだ。今年事故なく学校運営ができたから来年も大丈夫という事ではない。
- ・公平、平等な教育環境の整備が必要であり、それを軸に検討してほしい。そこには親、地域も協力していくことが必要だ。
- ・福間南小学校について、因果関係は不明であるが、感覚的にグラウンドが自由に使えないなどの施設の制限により、視力の低下や保健室通いの子どもが多いように思う。
- ・福間南小学校は取り残されているように見える。現状を変えるために対応するべきだ。
- ・福間南小学校は、教室が足りていない。図書の数も足りていない。学校に割り当てられている予算が少ないと聞いたことがあり、PTAで本を集めるなどの話も出ているが、本来はしっかりと予算を確保して整えるべきものではないのか。
- ・福間南小学校、福間中学校のソフト面の強化もしてほしい。
- ・福間中学校の運動会について、誰でも見に行けるようにしてほしい。
- ・特別教室が足りないなど、十分な教育環境が整えられていない、福間南小学校や福間中学校で学ぶよりも、ゆとりある学校生活を送ることができる福間東中学校に行く方が親としては良いと思うが、子どもは友達と離れたくないことから福間東中学校に行かない選択をすると思う。

3. その他の意見

- ・過大規模緩和への取り組みが遅すぎる。時間がかかり過ぎている。全然前に進んでいない。
- ・迷走し過ぎである。話が二転三転し過ぎだ。
- ・計画性がない。日蒔野の開発のときに人口が増えるのは明らかだったはずだ。計画がでたらめだ。
- ・保護者の市に対する、諦め、失望の気持ちが広がっており、関心が年々薄くなっている気がする。
- ・広報のやり方について、未就学児の保護者に届いていないのではないか。直接届くような広報のやり方を検討してほしい。
- ・意見交換会の周知について、直前にリマインドをすべきではないか。
- ・保護者が伝えられるツールがもっと必要である。ＨＰやメールの問い合わせだけでは弱く、ＳＮＳ等で情報発信して、それに対して保護者が意見をしやすい仕組みがほしい。例えば、インスタの活用など。
- ・先手を打って情報発信をしてほしい。
- ・情報発信のやり方を工夫するべきである。児童・生徒数の推計などいろいろな情報が飛び交っており、何を信用してよいのか、わからない。
- ・新設小学校の建設について、開校が遅れるとどんどん影響が出てくるので、予定どおり令和9年度に開校してほしい。福間小学校、津屋崎小学校が福間南小学校の二の舞になってしまう。
- ・新設校の建設地が悪い。水光会の近くに建てるべきであった。
- ・今更かもしれないが、福間南小学校の近くの公園に分校を建てて、抜本的に問題を解決すべきではないか。子どものために予算を使うべきである。
- ・推計結果について、上振れする可能性もあると思う。児童数・生徒数について、推計するのは難しいとは思うが、先を見越して動いてほしい。
- ・光阳台は住み替えが進んでいるため、子どもの数は、横ばい、もしくは増加すると思う。